

第16回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成30年6月8日(金) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部警備第一課課長補佐(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼島津連合区会長
京丹後市交通安全指導員会会長
宇川連合区長会会長
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

- I 経ヶ岬通信所における状況等
 - (1) 工事等の状況
 - (2) 交通事故の状況等
- II 住民の安全・安心
 - (1) 交通安全に対する取組
 - (2) 交通誘導及び巡回警備
- III 日米交流及び地域振興策の状況
 - (1) 日米交流
 - (2) 生活・産業への影響に対する対策
- IV その他
 - (1) 航空自衛隊工事
 - (2) レーダー停波に関する事案

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 2017年11月7日に経ヶ岬通信所の司令に就任して以来、この7か月は私のキャリアで一番充実している。私はこの地域の豊かな美しさ、また歴史を維持していくため、経ヶ岬通信所及び職員が力になれるよう努めたい。
- ・ 4月17日、経ヶ岬通信所は、基地内にて伝統的な日本の起工式を開催した。現在、米陸軍工兵隊と工事業者は、生活関連施設の整備工事を進めている。地域住民代表の方々に対し、工事におけるミス、そしてドクターヘリの事案において、地域にご迷惑をかけたこととお詫

び申し上げる。経ヶ岬通信所の中隊長として地域の安心と安全を確保するため、米陸軍工兵隊日本地区司令官と共に一生懸命努めていきたい。経ヶ岬通信所は常に地域の安全に重点を置いている。また、私たちは近畿中部防衛局、ドクターヘリそして地元の救急機関と共に、緊急事態の制限空域進入要請において、より良いコミュニケーションの構築に取り組んでいく。

- ・ 11月以降、経ヶ岬通信所職員は21個の地元のイベントに参加した。毎年恒例のハロウインのイベント、イースターのイベント、米陸軍軍楽隊の演奏会、袖志や京丹後地域での英会話交流などがあったが、地元学校との交通安全運動への参加は特に重要なイベントだった。また、交通安全講習会等にご協力いただいた京丹後警察署に感謝申し上げます。
- ・ 経ヶ岬通信所の中隊長として基地で働く兵隊、請負会社及び日本人職員の安心・安全の確保にも責任を持っている。私の職員は地域に掲げられた“US Troops out now（米軍、今すぐに出ていけ）”という心ない表現の看板について懸念の声をあげている。様々な考えの方がいることは理解するが、さすがに安息の場所に掲示されると、司令官としてスタッフの士気に影響が出かねないと懸念している。基地内で働くスタッフや工事関係者、車両について撮影している方がいて、私の職員は基地内でのプライバシーについても懸念を持っている。
- ・ 経ヶ岬通信所は、全ての基地職員に対し、安全運転の強化に努めている。日本のこの美しい地域で運転する上で、安全運転の重要性を呼びかけるため、私たちは経ヶ岬通信所チーム及び工事業者に対する安全運転の注意喚起を毎週継続して行っていく。
- ・ 地域の代表者の皆様から経ヶ岬通信所に対する多大なるご支援に、心から感謝申し上げます。皆様の地元地域にて奉仕していくこと、またこれらのパートナーシップそして友好関係の構築を継続していくことを楽しみにしている。

○出席者の意見等の概要

(1) 第Ⅱ期工事

【意見要旨】

- ・ この連絡会を立ち上げる際に作成した規約には、地域住民の各般にわたる安全と安心を確実に実現するため、我々はあらゆる努力を行うと誓うと書かれている。第Ⅱ期工事に関して、京都府及び京丹後市から緊急申し入れが出されるような事案があり大変残念である。この連絡会における「安全・安心」が言葉だけではなくて、確実に履行されるよう改めてお願いしたい。(地域住民代表)
- ・ 第Ⅱ期工事に関する情報の住民への周知について、本格的な工事開始の際の情報提供は隣接3地区のみになされたことと承知している。宇川地区を通る工事車両が米軍関係だけのものではないことは承知しているが、工事の実施は隣接3地区以外にも影響があるので、今後の工事に関する情報についてはしっかり周知をお願いしたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米側から入手した工事予定表については、可能な限り広く地元の皆様にお知らせすべきとの観点から、京丹後市の協力を得て、地元宇川の全区長に配布していただいているところである。当局としては、今後とも、新しい情報が得られ次第、本連絡会や当局の広報誌等の枠

組みを使って、地元への丁寧な説明に努めていく。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ これから夏場を迎えると海水浴客が増え、車両の通行が増える。特に週末は多くなるので、土曜日に工事が実施される場合はしっかりと事前に周知してもらいたい。また、可能であれば、米軍の工事車両の通行量だけではなく、交通総量を勘案して交通誘導員を配置するよう検討していただきたい。

(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 今月から大型工事車両の通行が多くなることが見込まれたことから、6月1日より、宇川小学校前のS字カーブに交通誘導警備員を配置している。交通総量については、米側も当局も把握し得る立場にないが、今後の工事予定を踏まえ、当面の間、工事が実施される日は毎日、誘導員を配置することとしている。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 第Ⅱ期工事の関係でいくつか問題となる事案が起きた。敷地外の掘削については、掘削された里道の管理者としての立場から、市としても米側の工事業者に申し入れをした。また、工事の予定表の公表が遅れたこと、土曜日の工事について情報提供が遅れたことについては、何度となく防衛局に対して申し入れを行い、市長から防衛省に対しても抗議を含めた申し入れを行った。短期間のうちにこのように何度も対応しなければならなかったのは残念である。先ほど防衛局及び米軍から報告があったところだが、今後の安全かつ適切な工事の実施については、しっかり対応していただきたい。
- ・ これまで騒音対策や交通安全対策など、この連絡会でお互いに意見を出し合って取り組んできた中、事前の情報提供がない中での土曜日の工事実施や敷地外の掘削が生じたのは残念である。第Ⅱ期工事については、前回の連絡会で提示された安全対策等の内容を確実に履行してもらいたい。また、敷地外が掘削されるということは、工事業者と十分に連携、情報共有されていないのではないかと懸念があるので、防衛局としてもしっかり指導するようお願いする。府としては、府民の安全・安心が確保されるよう、引き続き工事の安全かつ適切な実施を求めていく。

(京丹後市)

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 第Ⅱ期工事が本格化してからこの2ヶ月の間、地元の皆様にご心配をおかけする事案が発生したことは誠に遺憾。5月21日に来局した米陸軍工兵隊日本地区司令官に対し、局長から対面で改めて遺憾の意を伝え、工事の安全かつ適切な実行とともに、土日に工事を実施する場合は事前の情報提供を徹底するよう強く申し入れたところ。今後は、工事現場で毎週行われている定期的な打合せに当局も参加するなど、現場を含むあらゆるレベルで米側との意思疎通を確実にし、工事が安全かつ適切に実施されるよう働きかけていく。

(近畿中部防衛局)

・

(2) 商用電力

【意見要旨】

- ・ 商用電力の導入については、一度遅れたということがあるので、7月頃の導入に向けて工事を着実に進めていただきたい。(丹後広域振興局)

(3) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 交通事故が起きていないとの報告があったことについては、米軍内でもしっかり指導されており、また、警察署協力の交通安全講習会などの未然防止対策に取り組んでもらっているところだが、引き続き交通安全に向けた取組を進めていただきたい。(京丹後市)
- ・ 京都府においても、上野・平バイパスをはじめ、京丹後市内の道路工事が進んでいる。また、去年の災害の関係で、京丹後市以外も含めれば管内で二百ヶ所の災害箇所があり、あわせて早急に災害復旧を講ずべき箇所がある。これら京都府が実施する工事においても安全対策を万全にしていくので、第Ⅱ期工事においても、交通安全対策等については引き続き万全を期されるようお願いしたい。(丹後広域振興局)

(4) レーダー停波に関する事案

【意見要旨】

- ・ ドクターヘリの運航時に停波できなかったという件については、人命に関わる事態であり、断じて許しがたい事案であるため、6月1日付けで府知事から防衛大臣宛てに嚴重抗議の申し入れを行った。また、昨日には、府知事が京丹後市長とともに、米軍経ヶ岬通信所を訪問し、司令官に対して申し入れを行ったところである。米軍及び防衛局には、今後このような事態が二度と発生することのないよう強く求めているが、関係機関を参集した会議を開催して早急に原因究明を行い、再発防止策を講じられるとのことなので、京都府としてもこれにしっかり参画して再発防止の取り組みに努めていきたい。(京都府)
- ・ 昨日、市長が司令官と会う機会があり、先ほど申し上げた第Ⅱ期工事に関する適正な指導を申し入れるとともに、ドクターヘリの運航に係るレーダー停波については、しっかりと対応するよう申し入れている。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ ドクターヘリの事案について、当局としては、停波要請の手続を定め、日頃から米軍と関係機関との間で定期的な訓練を実施してきたところ、今般、このような事態が発生し、傷病者の方を始め関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことは誠に遺憾。今回の事案について、米軍と関係機関との会議を開催し検証するとともに、停波要請手続きの迅速かつ確実な実施がなされるよう再発防止の徹底を図っていきたい。(近畿中部防衛局)

(5) その他

【意見要旨】

- ・ 福知山射撃訓練の実施について、以前の連絡会において、地元としては丹後から福知山までの人員の移動や武器・弾薬の輸送に係る住民の不安があるので、安全対策について着実に実行されるよう強く要請したところ、防衛局からは「人員は民間のバスで移動し、武器・弾薬の輸送は別途の車両で、赤字に○火と白書した表示板を車両の前部、後部及び見やすい箇所に掲示する」との回答があったことを記録している。ところが、4月17日の訓練実施時は、武器を携帯されてバスに乗っていたとの報告を受けている。現在、武器の輸送はどのような基準で行われ、安全対策が行われているのか。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 過去の連絡会において、福知山射撃場への米軍の移動について当局からご説明した趣旨は、「武器と弾薬を別の車両で輸送し、弾薬を輸送する車両には、火のマークを車両前後に掲示する」というもの。この火のマークを車両前後に掲示することは、日米合同委員会合意に基づくものであり、本年4月の移動の際にも、米側は遵守していたものと承知。また、銃の管理については、米軍の内部規則により、当日割り当てられた銃は、移動時も含めその本人が責任をもって携行・管理している。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 米軍基地における水道利用について、京丹後市から、米軍基地への給水水源が袖志の落川から宇川簡易水道に変更されるとの説明があった。宇川地区の配水管敷設替による漏水量減少や宇川地区の人口減少に伴う供水減少により、宇川簡易水道からの米軍への供給は可能と判断されたとのことだが、夏場、8月13日から15日の間は海水浴客による利用水量増加により節水制限の必要があると聞いており、地元の観光事業に影響があることを懸念している。地元からは米軍基地内において飲料水を貯留できるような施設を整備するよう要望があったので検討いただきたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 米軍経ヶ岬通信所への給水について、当局と京丹後市で調整を行ったところ、当局の再編交付金事業による宇川地区の配水管の整備による漏水量減少や、宇川地区の人口減少に伴う給水量の減少により、宇川簡易水道から米軍経ヶ岬通信所への供給は可能であると京丹後市から回答をいただいた。貯水施設の整備の要望については、米側は、Ⅱ期工事において飲料水を貯留可能な給水タンクの整備を計画していると聞いている。(近畿中部防衛局)

(以上)